

その他「情報公開文書」

放射線部ホームページ http://crs.kuhp.kyoto-u.ac.jp/education_research/research_news

京都大学医学部附属病院では、取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録を、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただくことを当院ホームページでお知らせしています。

<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/privacy/index.html>

放射線部においても、画像診断学・放射線治療学のさらなる発展のため、検査結果の画像情報や所見、治療情報を後日研究目的で使用する場合があります。このような研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。また、研究は倫理指針に従って実施されます。

- 研究のために当日の検査内容が変更されたり追加されたりすることはありません。
- 仮に研究に使用されても住所・氏名など個人情報が公開されることはありません。
- 研究によって得られた知的財産の所有権は京都大学に属します。
- 研究計画書および研究の方法に関する資料を入手又は閲覧を希望される場合には、表下段の研究 責任者または連絡先にお問い合わせください。なお、資料は他の研究対象者等の個人情報及び知的 財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。

以上をご理解の上、検査・治療をお受けください。検査・治療に関するお問い合わせは、検査を依頼した 診療科へご確認ください。なお、拒否された場合には検査結果が研究に用いられることはなく、拒否されたことにより不利益を被ることもありません。また、患者さんご自身の個人情報開示の手続きについては、当院の個人情報保護方針に詳細に書かれていますので、こちらをご確認ください。

<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/privacy/info.html>

研究の種類	R1043 横断的観察研究
研究期間	2014年7月28日～2025年3月31日まで
研究タイトル	放射線検査における被ばく線量の院内実態調査と最適化への考察
利用または提供する 試料・情報の期間と 項目	2009年4月～2024年12月に当院放射線部で一般X線検査・X線CT検査・血管造影検査・RI検査他を施行された方の臨床情報(画像情報、検査情報)を使用します。
研究の概要	「放射線」の利用は治療に必要な診断情報を提供するとともに、がん治療の3本柱の一つとして欠かせないものです。一方でX線CT装置等の普及率はアメリカの約3倍もあり、医療における被ばく線量の増加が懸念されています。私たちは当院でこれまでに行われた放射線検査の実態を調査し、被ばく低減につながる最適化因子について検討します。

個人情報保護	京都大学医学部附属病院ホームページの個人情報保護方針を遵守し、研究により得られたデータを取り扱う際は、個人を特定できないように符号や番号を付けてID化します。なお、この研究の成果は専門の学会や学術雑誌に発表することがありますが、プライバシーを十分に尊重し、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されないようにいたします。
研究資金 ・利益相反	本研究は、運営費交付金により実施し、特定企業からの資金提供は受けません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。
利用または提供を開始する予定日	研究機関の長の実施許可日以降
研究責任者 及び連絡先	<p>京都大学医学部附属病院 放射線部 研究責任者：小泉 幸司</p> <p>連絡窓口：藤本 隆広 電話番号(代表) 075-751-3111</p> <p>相談等窓口：京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口</p> <p>(Tel)075-751-4748 (E-mail)ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp</p>